

所管課	都市づくり部道路課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策										
	第4章 安全安心都市		09 道路		02 道路環境を向上させる										
事業：橋梁整備事業												整理番号	0309		
目的	橋梁を常に良好な状態に保ち、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。 地震時、落橋による地域の分断や孤立化を防ぎ、避難や救助、復旧や救援物資搬送のための緊急交通路を確保するため、地震に強い橋梁を整備する。 そのために必要となる費用は最小で、最大の効果が発揮できるよう各橋梁ごとに計画を策定する。														
目標	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先順位の高い橋梁について補修・補強設計及び工事を実施する。														
事業費・財源	事業費（決算額）(千円)		49,441		コスト情報・評価	総コスト（千円）		57,447		総合評価	B	妥当性	A		
	財源内訳	一般財源		5,552		内訳	事業費		49,441			効率性	A		
		国府支出金		25,289			人件費		8,006			有効性	B		
		地方債		18,600			公債費		0		橋梁の安全・安心を確保している。				
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		514						
							世帯あたり(円)		1,216						
貢献度	施策に対する事業貢献度		B		根拠	道路の安全・安心を確保している。									
今後の方向性	技術力を向上させ、各橋梁の現状を直接把握し、合理的な長寿命化修繕計画を作成する。														

事業 優先順位		1	細事業:橋梁整備事業				整理 番号		01										
目的		定期的な点検により健全度を把握するとともに、早期に損傷等を発見し、事故や大規模な補修に至る前に、効率的・効果的な修繕や架け替えを計画的に実施することにより、コストの縮減と長寿命化を図る橋梁寿命化修繕計画を策定する。その上で以降、本計画に基づいて橋梁の補修・補強及び架け替えを実施していく。																	
目標		橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の補修・補強に関する設計の実施(3橋) 同様に補修・補強に関する工事の実施(1橋)																	
事業 実施主体		委託		事業開始 年 度		昭和47年度以前		根拠 法令		道路法 第42条 第1項									
事業費・財源			平成25年度		平成24年度		比 較		コスト 情報・ 従事 職員 数			平成25年度		平成24年度		比 較			
	事業費(決算額)(千円)		49,441		10,164		39,277			総コスト(千円)		57,447		14,925		42,522			
	財 源 内 訳	一般財源		5,552		9,064		-3,512		内 訳	事業費		49,441		10,164		39,277		
		国府支出金		25,289		1,100		24,189			人件費		8,006		4,761		3,245		
		地方債		18,600		0		18,600			公債費		0		0		0		
		その他特定財源		0		0		0		一人あたり(円)		514		132		382			
				0						世帯あたり(円)		1,216		317		899			
				0						参 考	職員数(人)		1.05		0.60		0.45		
											再任用職員数(人)		0.00		0.00		0.00		
	今後の 方向性		橋梁の定期点検を行い、常に橋梁の損傷状況を把握することにより、合理的な修繕計画へと結びつける。 そのために職員の点検能力等の技術力向上を図る。																
評 価	妥当性		効率性		有効性		対 象 者	河内長野市(道路課)が管理する橋梁 114橋(道路台帳記載の橋梁)											
	A		A		B														

事業：橋梁整備事業

市では現在、市道上の道路橋 114 橋と歩道橋 10 橋の合計 124 橋を管理しているが、これらの橋梁の安全性、信頼性を確保することは、日常の市民生活にとって必要不可欠であり、特に跨線橋や跨道橋、防災上の緊急交通路上の橋梁などは安全性に対する重要度が高く、一定の耐震性能を有していることが求められている。

しかし市の管理する橋梁の多くは高度経済成長期に架設されており、現在、建設後 50 年以上を経過している高齢の橋梁数は 29 橋であるが、20 年後には全体の 77% にあたる 95 橋が建設後 50 年以上となる。そのため、橋梁の老朽化がこのまま進めば一時期に多くの修繕や架け替え工事が集中し、費用が増大することが懸念される。

そこで市では平成 24 年度に、橋梁の長寿命化と修繕に要する費用の削減を図り、道路網の安全性・信頼性を確保することを目的に「橋梁の長寿命化修繕計画」を策定した。

平成 25 年度以降は策定した計画に基づき、橋梁の補修・補強を順次実施していくことになるが、平成 25 年度では「向野橋」の補修工事と「かいと大橋」及び「うじの大橋」の 2 橋について補修・補強工事のための詳細設計を実施した。

細事業：橋梁整備事業

1. 橋梁補修工事

「橋梁の長寿命化修繕計画」に基づき、優先順位の高い「向野橋」の補修工事を実施した。

	工 事 名	工 事 費 (円)	工 期	工 事 概 要
1	向野橋補修工事	37,439,850	H25. 10. 7 ～ H26. 3. 25	施工延長 L=162.6m 剥落防止工 A=638.9㎡ 伸縮装置設置工 L=21.0m

2. 橋梁補修・補強設計

「橋梁の長寿命化修繕計画」に基づき、優先順位の高い「かいと大橋」及び「うじの大橋」について補修・補強工事のための詳細設計を実施した。

	業 務 名	委 託 料 (円)	委 託 期 間	委 託 概 要
1	かいと大橋外 1 橋補修補強設計業務	12,001,500	H25. 11. 6 ～ H26. 3. 28	かいと大橋 L=110.0m W=12.0m うじの大橋 L=139.6m W=11.9m